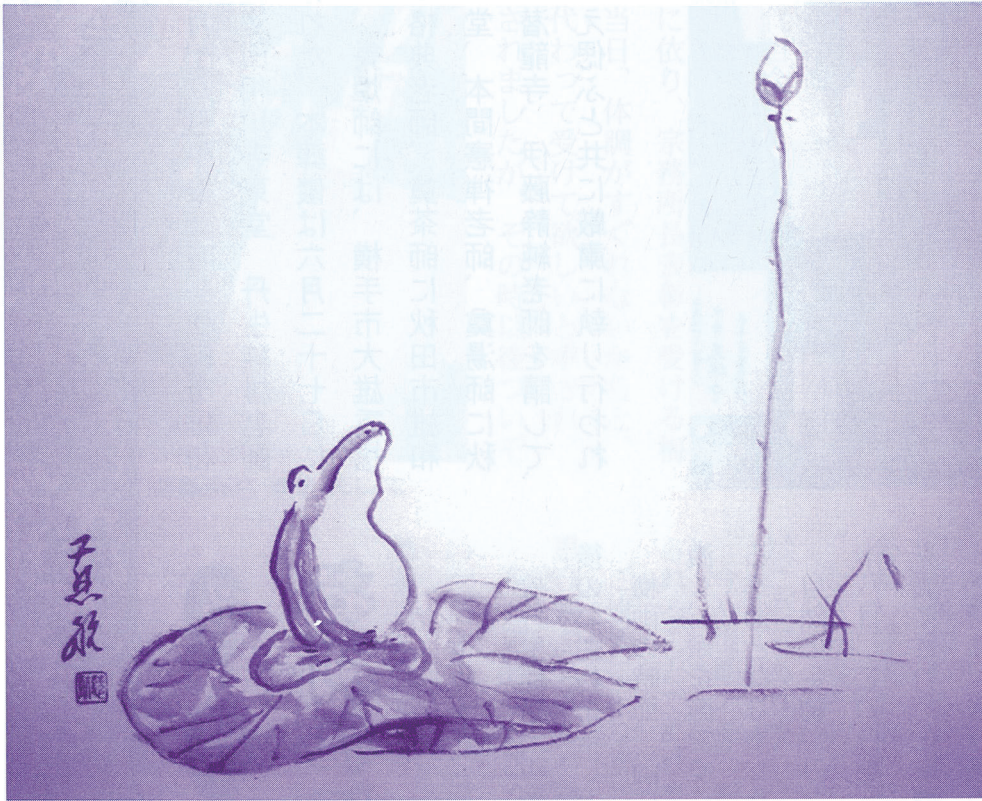


にぎりなき 心の水に澄む月は
波もくだけで 光とぞなる



子良歌



平成21年8月25日

第31号

発行 梅花流師範・詠範の会
会長 柴田 弘一
題字 初代会長・故加藤信三師
編集者 (広報部) 亀谷 隆道

梅花流師範・詠範の会事務局
五城目町 待月院 嶋森憲雄
電話 (0188-52-9566)

瑞成寺専門僧堂長 楳崎通元老師揮毫

遠蛙 ギャーテ ギャーテーただ ギャーテ



秋田県梅花流師範・詠範の会 会長 岩 館 祖 芳

お暑うございます。如何お過ごしですか。

この度、柴田先生が益々お忙しい立場になった理由で辞任され、恐れ多くも会長を拝命することとなりました。歴代の会長様には全ての面で遠く及びませんが、卒よりしくご教導の程、切にお願ひ申し上げます。至らぬ者です。何卒何

ところで、まさかの全国大会中止。参加ご希望の講員様には、どんなに残念でいらつしやつたことか。でも、万が一も考えられた中では賢明な判断だったと思います。その分、来る県大会で大いに日頃の成果をご発表頂ければと、沢山のご参加を願ひ上げます。

かつて特派として巡らして頂いた折り、何県かの大会にも出席致しましたが、「秋田はレベルが高い」といつも感じて参りました。それは、皆様の熱心な求道の姿の表れであると共に、ご指導下さる方々の真心こめてのご努力に依るものと存じます。「梅花つて難しい!!」そんな声を多く耳にします。「同感です」歌詞、所作、メロディー、どれをとつてもムズカシイ。恥ずかしながら、身についたのは「反省」だけです。

梅花指導者の会で、特派布教師でおられる木村高寛師に講演を頂きました。開口一番ご老師いわく「誰の為に梅花をやつてるんですか」と。優しい語り口ながら、ズバリと的を射た問いかけ。初心に目覚めました。「自分のため、自分を深めるため」であることを改めて思い起こしました。

お釈迦様、道元禅師様、瑩山禅師様の尊い教えを学ばせて頂ける梅花、そのみ教えにひたる幸せ。私など、心洗われる思いです。梅花はそんなスバラシイ世界です。不安を悩みを大きく包み込んでくれる世界です。生きる力を与えてくれます。

外は蛙の大合唱。きつと、上手とか下手とかの意識など無く、ただギャーテーぞひたすらギャーテーぞとの教えに聞こえます。

身の程知らずです。ただギャーテーとは参りません。ただただよろしくお願ひ申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

第四代目 丹生純雄老師 御遷化

師範会会長

去る四月十八日午後三時、秋田市雄和相川、瀧澤山相川寺東堂、丹生純雄老師が遷化された。本葬儀は六月二十七日に厳修され、秉炬師には、横手市大雄重福寺、國安格典老師、奠茶師に秋田市雄和普門院東堂、本間憲禪老師、奠湯師に秋田市雄和潜龍寺、伊藤静純老師を請して、威徳を讃え偲ぶと共に厳肅に執り行われた。



弔 辞

お別れにのぞみて

柴 田 弘 一

故丹生純雄大和尚様のご真前に額ずき、最後のお別れを申し上げます。

梅雨の時節、雨に洗われ野も山も緑更に色濃く、頬を撫でゆく風もしつとりと感ぜられる季節となりました。

自然の生物がみな活動期に入った去る四月十八日、この日を一期とし忽然として幽明境を異にされ、化を遷されたとの悲報に接しました時は、言い様のない淋しさに襲われました。

八十年に亘つてもし続けたいのちの灯火が、ご老師を慈しみ頼りとして参ったご家族に看取られ、眠るが如く静かに彼岸の彼方に旅立たれました。

ご老師は正に禅僧でありました。堂々としたお姿で、理路整然としたお話、そして朗々として重厚なお声。

その全てが綿密に、信念と誇りを持って行じて来られました。

まっすぐな生き方、人情あふるるお人柄。不老帽をかぶり、一步一步地を踏みしめ歩くお姿が眼前によみがえって参ります。

梅花流師範としては県内草分けのお一人、重鎮でありました。

ご老師より懇切なる梅花の手ほどきを頂きましたのは、今から三十四、五年前の昭和五十年頃の事。

四ツ小屋円通寺の現方丈さまと二人で、相川のこのお寺に通わせて頂きご教授賜りました。

檀信徒に、もつともつと梅花を広めて行きたい、との想いを熱く語っておられました。私が今もこうして梅花を続けておりますのもその時以来のご老師のご薫陶に依るものと、深く感謝申し上げます。

ご老師は昭和六十三年、大本山永平寺の侍真と言う重要なお役に就かれました。



遺弟、唯岳師に法を託して

その為、それまで梅花の指導をされており
ました土崎蒼龍寺様の梅花講を私が代わって
受け持つことになりましたのも、ご老師の一
言によるものでした。

平成四年、永平寺でのお役を無事務め終え
られ、帰山されましたが、その後体調のすぐ
れない日が続いた様でありました。

回復されると共に、再び県内梅花発展のた
めにご尽力され、平成九年〜十年には梅花流
師範会第四代目会長に就かれ、その力量を十
分に発揮されました。

その功勞に依り、宗務所長表彰を受ける梅
花奉詠大会当日、体調がすぐれないからと、
どなたかに代わって受けて欲しいと申され、
早々に退席されましたが、その時以後ついぞ

お目にかかる機会はございませんでした。

誠に残念に思われてなりません。

ご老師は、これまでの人生の歩みの中で、
生老病死を見つめて来られ、四苦八苦を体得
されて、親しく檀信徒を教え導き接して参ら
れました。

立派なお弟子さまにあとを託され、八十年
を精一杯生き抜かれました。

それも奥さまの大きな支える力があつたれ
ばこそでありましょう。

今や後顧の憂い無く大寂定門に向かつてお
られることでありましょう。

ご遺族にとりましては、いつまでも肉親を
思い偲ぶ気持ちが残ることはありません。

今ご老師をお送りするにあたり、今日まで
いただきましたご温情とご法愛に改めて深く
感謝申し上げます。

長い間ご苦勞さまでございました。
何卒ごゆっくりおやすみ下さい。

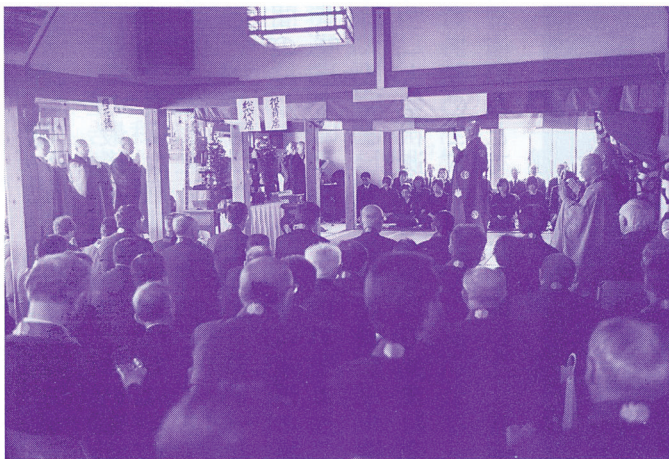
平成二十一年六月二十七日

秋田市雄和相川字高野一五八

瀧澤山 相川寺

二十一世中興哲山純雄大和尚

本葬儀に於いて



多くの檀信徒が偲び送る



七佛事師を請して厳粛に

梅花のふるさと

〔詠讃歌の生まれた風景（その九 大聖釈迦如来涅槃御和讃）〕

お涅槃に誓う 釈迦涅槃図

大聖釈迦如来涅槃御和讃

拘尸那のほとり風おちて
 流れはむせぶ如月の
 望の月影きよけれど
 傍く雲にかげりゆく
 双樹の沙羅に咲きみちて
 ま白き花は匂えども
 散るを定めの花なれば
 はらはら散りてすべもなし

作詞 赤松月船

◇沙羅の樹の間で◇

たくさんの弟子達を連れて、クシナガラを訪れたお釈迦様。この時、八十歳になっていたお身体は、病氣のためにひどく弱っておりまして。いよいよご自分の最期のときが近づいたことを悟ったお釈迦様は、弟子のアナンに命じて、クシ

ナ城のほとり、沙羅の双樹（一株から二樹出ているもの）の間に床を用意させました。そこへ頭を北に向け、右脇を下にして身を横たえたのです。お釈迦様の入滅という、大いなる時の近づいたことを知っているのでしょうか、折りからの風は止み、近くの川はむせび泣くような音を立てて流れてゆくのでした。

二月十五日の夜。人の夜の闇をこうこうと照らしていた円かな月が、雲の背後に隠れようとしていたので

不思議なことに、まだ開花の時期ではない沙羅の樹々が、いつせいに白い花を咲かせました。そして永遠の眠りにつこうとするお釈迦様のからだの上に、その白い花びらははらはらと散らせたのです。



【ガンダーラの涅槃像】

◇涅槃ということ◇

お釈迦様の最後を「涅槃」と言いますが、ここには二つの大切な意味が含まれています。一つはお釈迦様の死ということ。もう一つはお釈迦様による完全なお悟りということ。一方は限りある時間の終りを意味し、一方は永遠の時間の始まりを意味しているとも言えるでしょう。つまり涅槃とは、人間としてのお釈迦様が、永遠のいのちを持つ「大聖釈迦如来」として生まれ変わったことでもあるのです。

菩提樹のもとでお悟りを開いた（成道）が教え



【 釈 迦 涅 槃 図 】

の始まりであるとするれば、「涅槃」は信仰の始まりであると言えるかもしれません。

「涅槃図」をよく見てみましょう。沙羅の樹に囲まれて中央に大きく横たわる釈迦様。寝台に身を寄せ悲嘆に暮れるアナンやスボダイ等の弟子達。観音、地藏、文殊、普賢の各菩薩。大臣や長者等在俗の人々。竜王、金剛力士、キンナラなど異形の者達。獅子。そして上空には天界から我が子の臨終に駆けつけた釈迦様の母・マヤ夫人。

まわりの者達がみな悲しみに耐えている中で、まん中のお釈迦様だけは静かな安らぎに満ちているようです。そしてそのからだは、ひととき大きく光り輝いています。それは、なにかこれから新しいことが起るような、偉大な力を感じさせます。この涅槃の絵図はそのものが、終りと新たな始まりの物語を秘めているようです。

◇ 涅槃会に誓う ◇

お釈迦様の涅槃をしのび、春になるとそれぞれのお寺では「涅槃会」を修行します。ご本堂の正面奥には涅槃像を掛けます。

お釈迦様は最期にこう言われました。「私のからだはなくなっても、この世に生まれ出てくる人たちが、私の教えを守り続けてくれたなら、私のいのちは永遠に生き続けるだろう」と。

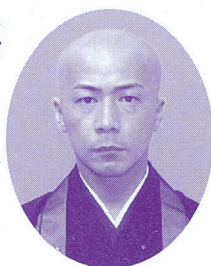
お釈迦様は私たちがその教えをまもり、実践するところに生き続けるのです。お涅槃会は、その誓いを新たにす約束の場所なのです。

ちよつとぶじょほう ～梅花つれづれ～

イスラムの国で

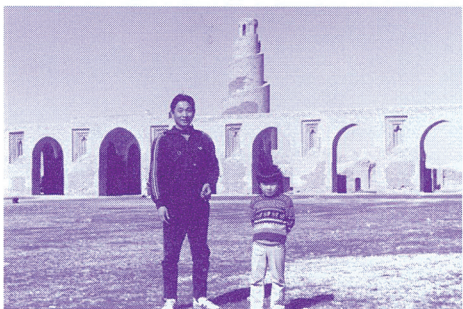
子供の躰とは

秋田市雄和 玉龍寺 三戸和廣



私は幼少の頃、海外で暮らした経験がある。海外と言っても皆さ

んがあまり行こうとも思わないであらうイラクという国である。先代の師匠が以前、教員の仕事をしていた関係で海外勤務をする事となり、昭和五十五年の春から三年間暮らして来た。首都のバグダットという所は、日中の気温は五十五度。ほとんど戸外には出られないほど。現地水道水は腹を壊す為、水は買って飲んでた。一本二百円の水に対し、ガソリンは何と一リッター二十円。日本では考えられない現実があった。慣れない生活を過ごしてまもなくイラン・イラク戦争が開戦した。私が住んでいた場所でも空中戦が展開され、低空で戦闘機が飛んで行き、黒煙が上がる情景は私も子供ながらに驚いたものだ。しか



し、その後戦場はイランとの国境付近や軍事施設、製油所のある地域などに限られ、戦時下という緊迫した感じはあまり受けなくなつた。というのは両国とも軍事的に重要な施設以外には攻撃しないという宗教的ルールがあったからだろう。



かかる行動は子供の時から厳しく躰けられます。日本では子供だから許されると思う事でも、反対の立場で教育しています。現代の日本の教育の問題で一番おろそかにされている事が子供の躰ではないのでしょうか。躰の出来

話を始めるがこのイラクを始め中近東諸国はほとんどイスラム教徒の国である。毎日の生活の中に宗教を持つている国の国民の倫理観と、はつきりした宗教観を持たない日本人とは大きな差がある様に思える。特に諸外国からの侵略の歴史を持たない日本人は、自己主張が不足で少しのミスに直ぐ「ごめんなさい」という国民性を持つている。その点外国人は決して自分の非を認めません。自分の非を認めたら殺されるという、歴史的なもので宗教的思想が生活の中に染み込んでいます。特にイスラム教徒は自分の非を認めません。その為、他人に迷惑のか

ない親が多くなつた事に大きな問題が生まれ、家庭内暴力、いじめ問題等が山積みになっているのが実情である。教える側も、親達も、学力のみに重点を置き心を育てる事を忘れてきているのが現代であるように感じられる。今一度考えてみないといけないと思う。

現代日本気質の自由と平等思想が実は、子供の教育、躰の面ではマインスの要素を表すのではないかと人間としては平等であるが、社会生活上では、決して平等ではなく個人個人に格差があります。すべてを平等と考える現代を再考してみてもどうでしょうか。私も今は僧侶として檀信徒を導く立場にある以上、このような色々な経験を基に、更なる自己の研鑽に努めていきたい。

テレホン梅花

011-873-7676 (毎週土曜日にテープが代わり)

平成二十一年

八月二十二日 正行御和讃

二十九日 道環

九月五日 開山忌御和讃

十二日 追善供養御和讃

十九日 香華

二十六日 入寂(高祖)

十月三日 達磨大師御和讃

十日 廓然

十七日 永光(永平二祖)

二十四日 永光(総持二祖)

三十一日 誕生(太祖)

十一月七日 慕古

十四日 菩提(太祖)

二十一日 入寂(太祖)

二十八日 讚仰(太祖)

十二月五日 成道御和讃

十二日 明星

十九日 淨心

二十六日 報謝御和讃

平成二十一年

一月二日 同行御和讃

九日 道交

二十三日 まごころに生きる

三十日 慈光

※ご意見ご要望等をお気軽に
お寄せ下さい。

〒001-0111 秋田市金足岩瀬字前山三
東泉寺(011-873-7676)

アトリオン邦楽コンサート

自性院住職

鈴木道雄(鈴秋)



アトリオン音楽ホールは、九月の主催事業として、「邦楽への誘いⅡ」〜日本音楽の源流を辿って〜と題し、梅花流詠讚

歌を組み入れた邦楽コンサートを開催します。声明に端を發し、長い歴史と伝統によって醸成され形成してきた邦楽。しかし、その源流と変容を音楽で耳にする機会が少ないのが現状です。

「邦楽への誘いⅡ」は、一昨年に続き普段邦楽に触れる機会があまりない方のために、解説を交えてのレクチャーコンサートとして日本音楽に親しみ楽しんでいただける内容に構成したものです。

日本音楽の伝統と融合、そして幅広く奥の深い邦楽の世界を「声明」「ご詠歌・和讃」「現代邦楽」そして邦楽器と梅花流詠讚歌のアンサ

This Concert is sponsored by AKITA Prefectural Government. アトリオン音楽ホール9月の秋田県主催事業

鈴木鈴秋 プロデュース

いざな 邦楽への誘いⅡ

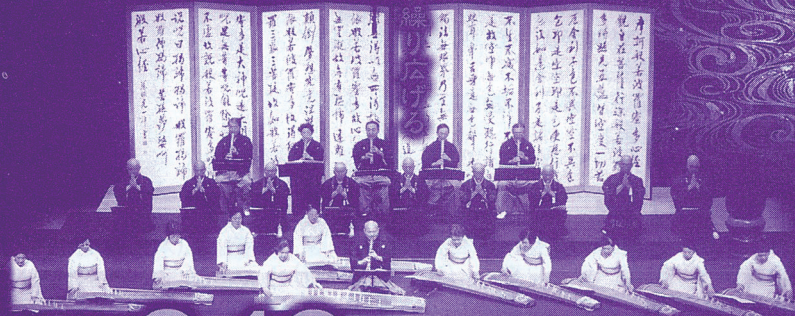
～日本音楽の源流を辿って～

出演

- 鈴木 鈴秋(尺八)
- 村田 章子(箏)
- 多々良 香保里(箏)
- 足達 清賀(箏)
- 黒坂 昇(打楽器)
- 烏合衆(声明・詠讚) ほか

曲目

- 現代邦楽「秋の一日」
- 三曲「新娘道成寺」
- 声明・和讃「仏教音楽」
- 三絃合奏「吾妻獅子」
- 詠讚と尺八「達磨大師影讃曲」

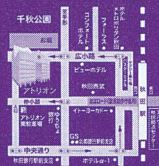


2009 9.12 土

アトリオン音楽ホール
14:00開演 (13:30開場)

全席自由 一般前売り / 1,500円 (当日 / 2,000円)
学 生 / 700円

※学生券の対象は25歳までの学生で、ご入場の際は学生証の提示が必要です。
○小学1年生のお客様からご入場できます。小学1年生以上のお客様は入場券が必要ですよ。



主催/秋田県
協賛/秋田アトリオンビル様
お問い合わせ
秋田アトリオン音楽事業部
☎(018)836-7803
秋田市中通2-3-8 アトリオンビル5階
http://www.atorion.co.jp/ongaku/

プレイガイド

- 秋田市 電話アトリオンプレイガイド 018(836)7830
- 秋田市 秋田ニューシティ 018(864)3821
- 秋田市 秋田ニューシティ 018(864)3821
- 秋田市 ジュック堂書店秋田店 018(884)1370
- 秋田市 カイイ書局秋田ショップ 018(834)2137
- 秋田市 7thミュージック秋田店 018(835)5091
- 秋田市 秋田ニューシティ 018(864)3821
- 秋田市 風流生協(東洋売店) 018(860)3570
- 秋田市 細川レコード店 018(845)0020
- 秋田市 イオンモール秋田 018(889)6500
- 鹿角市 いくぼりショッピングセンター 0186(30)1166
- 大館市 いくぼりショッピングセンター 0186(49)1717
- 能代市 いくぼりショッピングセンター 0185(89)2480
- 山形県 山形サヤレコード店 0184(23)3511
- 大崎市 タカナギ イーストモール 0187(62)1001
- 横手市 インスーパーク-鮮蔵 0182(35)2340
- 湯沢市 おびきゆう 0183(73)1121

ンブル「達磨大師影讃曲」で展開いたします。出演は、県内外を問わず第一線で活躍している秋田ゆかりの邦楽演奏家とグループ。そして、梅花流師範有志「烏合衆」(代表柴田弘一師範)

と青年宗侶有志。日本・インドの打楽器に精通したプロ第一線の奏者等、多才な面々です。縁によってこのコンサートをプロデュースいたしますが、一人でも多くの方が詠讚歌と邦楽の演奏に触れていただき、日本音楽の良さを再認識してもらえる機会になればと念じているところです。

梅花行事ご案内

■ 禅センター梅花講習

【宗侶・寺族研修会】（午前十時半～午後三時半）

- 十月十五日（木）講師 本間俊英師範
- 十一月九日（月）講師 高嶺・永光（永平）
- 二月八日（月）講師 本間雅憲師範
- 講師 法灯（瑩山）・道環
- 講師 佐藤俊晃師範
- 講師 梅花（高祖一・太祖二）

【檀信徒講習会】（午前十時半～午後三時半）

- 九月十一日（金）講師 鈴木泰賢・清水道広師範
- 講師 両祖讚仰御和讃・法灯
- 十月九日（金）講師 鈴木泰賢・柴田和明師範
- 講師 両祖入寂御和讃・高嶺
- 十一月十三日（金）講師 三浦賢翁・村松良周師範
- 講師 二祖禅師讚仰御和讃・永光
- 十二月十一日（金）講師 柿崎隆穂・郡亮善師範
- 講師 大聖釈迦如来成道御和讃・明星
- 二月十二日（金）講師 佐藤晃心・柳川一童師範
- 講師 大聖釈迦如来涅槃御和讃・不滅
- 三月十二日（金）講師 三浦賢翁・清水道広師範
- 講師 学道御和讃・影向御和讃・幕古・伝光

※若い講師も増えました。昼食持参でお気軽にご参加下さい。初心者、上級者の二会場にて、受講は無料です。

■ 檀信徒講習一泊研修

◎中央・県南地区

日時 九月三日（木）午後十二時半～受付
～四日（金）午後三時～終了

会場 由利本荘市 長谷寺

【特別講習あり】

今回は特別講師として、宮崎県より久我経二一級師範老師を拜請し御講習を頂きます。※締切は八月二十日までのことです。

◎県北地区

日時 十一月四日（水）～五日（木）

会場 藤里町 宝昌寺

内容は計画中とのことです。※会費、詳細、日程等は決まり次第各講長さんを通じてご案内致します。

■ 秋田県梅花流奉詠大会

※今年度は県内二カ所に分かれて開催致します。二会場にてのそれぞれの企画も計画中ですのをご期待ください。

◎中央・県南大会

日時 八月二十八日（金）

会場 由利本荘市「西目シーガル」

◎県北大会

日時 八月二十七日（木）

会場 大館市「大館市民文化会館」

検定会のお知らせ

～21年度課題曲決定～

今年度の梅花流検定会が下記の日程で開催されます。日々の練習の成果を発揮し上達につながる絶好の機会ですので、ぜひ受験に向けて精進されますようご案内致します。検定課題曲の中から数曲限定しましたので、得意な曲は伸び伸びと、苦手な曲は練習を重ねて検定に臨んで下さい。

※日 程 【集合受付 9時 / 開講式 9時30分 / 検定開始 10時】

- 県北検定会場（九・十教区） 事務局 盛澤寺 ☎ 0185-76-2042
9月25日（金） 会場/八峰町峰浜「盛澤寺」
- 県北検定会場（十一・十八教区） 事務局 恩徳寺 ☎ 0186-62-0647
9月14日（月） 会場/大館市十二所町「リトル大滝温泉」
- 県南検定会場 事務局 東林寺 ☎ 0184-22-3437
9月25日（金） 会場/由利本荘市「慶祥寺」
- 中央・三級検定会場 事務局 宗務所梅花主事 ☎ 0188-68-6871
9月14日（月） 会場/秋田市「さとみ温泉」

● 詠範（寺族）検定課題曲

- 補 教 正法・四摂法・紫雲（高祖）より2曲。
- 詠 範 補 梅花（太祖1）・入寂（太祖）・誕生（太祖）・菩提（高祖）より2曲。（※和讃は立行）
- 五級詠範 溪声（永平2）・観音・浄光・地蔵より2曲。（※和讃は立行）
- 四級詠範 歓喜（第2）・成道・不滅・高嶺・追善・妙鐘より2曲出題。（※和讃は立行あり）
- 三級詠範 紫雲（高祖）・梅花（太祖2）・溪声（永平1）・廓然・御授戒・慶祝より3曲出題。（※和讃は立行・分節詠唱あり）

● 檀信徒検定課題曲

- 教 導 三宝・正法
- 権正教導 聖号・修証義
- 正 教 導 浄心・紫雲（高祖）
- 権中教導 梅花（高祖1・太祖2）・誕生（高祖）より2曲（和讃は立行）
- 中 教 導 溪声（永平寺1・総持寺2）菩提（太祖）より2曲（和讃は立行）
- 権大教導 讚仰（高祖）・法灯（太祖）・無常・月影より2曲出題（※和讃は立行あり）
- 大 教 導 歓喜（第2）・涅槃・観音・慈光・地蔵・慈念・妙鐘より3曲出題（※和讃は立行あり）
- 三級教範 紫雲（太祖）・梅花（高祖2）・溪声（総持寺2）・廓然・讚仰（太祖）・法灯（高祖）御授戒・慶祝より3曲出題（※和讃は立行あり）